

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52502	保育実習指導 I Childcare Internship: Guidance I	岡田 真智子 児玉 珠美	専門	1	選択	1 年後期
科目の概要						
この科目は保育実習に当たって、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、保育現場で求められる実技指導、実習園へ行く前の事前指導と、実習中の巡回教員からの指導、実習後の個別指導などから構成されている。進級、保育資格取得の必須科目である。保育士に必要な専門的知識・技能を現場で活用できるように学ぶこと。						
学修内容			到達目標			
① 実習の意義と目的を理解できるようにする。 ② 実習の内容を理解し、自らの課題を考える。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について学ぶ ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に学ぶ。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行う。			① 実習の意義と目的を理解する。 ② 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にもつ。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等についての重要性を理解する。 ④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し教材を作成する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題を明確にする。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	保育実習に向けて、保育実習を理解し実習に対する心構えを理解し、保育教材作成に取り組む。				
	働きかけ力					
	実行力	保育実習に向け自分で目標を決める。				
考え抜く力	課題発見力	目標を達成するにあたり取り組むための課題を見出す。				
	計画力					
	創造力	保育実習に向かい積極的に知識・技術を身に着けるよう行動する。				
チームで働く力	発信力	実習先において常に伝える内容について要点を絞り整理しておく。				
	傾聴力	相手が話しやすい雰囲気を作るよう努力する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	保育実習や保育士としての仕事を意識し規律ある生活態度を日頃より意識行動する。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「学外実習の手引き」「教育・保育実習安心ガイド」ひかりのくに「教育・保育実習実技ガイド」ひかりのくに 参考文献:「保育所保育指針解説書」厚生労働省、「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:教育実習 I、教育実習指導 I、保育実習施設実習、各種実習事前事後指導 資格との関連:保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・講義や演習などで学んだ内容を確認しておく。 ・日頃より保育士としてふさわしい態度を心がける。 ・手遊びや折り紙、絵本等保育技術に関心を持ち実践できるようにする。			遅刻、提出物などの期限を守ることは当然として行動する。 学外実習に向けての内容であるため、積極的に参加する 実習前の指導で欠席することなく意欲的参加する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	20	① ✓ ② ✓ ③ ④ ✓ ⑤ ✓	・保育内容を考え指導計画(部分案)を作成する。 (評価基準:計画に整合性がありよくできている 20 点・まあまあできている 15 点・課題は残る 10 点) 未提出 0 点
成果発表 (口頭・実技)	30	① ✓ ② ✓ ③ ④ ⑤	2つの課題(①パネルシアター②手遊び・歌遊び)それぞれ保育実践を想定し人前で発表する。15点×2 15点・・・園児の前を想定し、自信を持ち堂々と演じている。 10点・・・練習を重ねスムーズに演じている。 5点・・・内容が理解できる。
作品	30	① ② ✓ ③ ④ ✓ ⑤	2つの課題(①パネルシアター②手遊び・歌遊び)の完成度を評価する。15点×2 (評価基準:特に完成度が高い 15 点・創意工夫がみられる 10 点・完成しているが工夫と努力が必要である 5 点)
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性)保育実習に向けて、保育実習を理解し実習に対する心構えを理解し、保育教材作成する。 (実行力)保育実習に向け自分で目標を決める。 (課題発見力)目標を達成するにあたり取り組むための課題を見出せる。 (傾聴力)保育実習に向かい積極的に知識・技術を身に着けるよう行動できる。 (発信力)実習先において常に伝える内容について要点を絞り整理する。 (傾聴力)相手が話しやすい雰囲気を作るよう努力する。 (規律性)保育実習や保育士としての仕事を意識し規律ある生活態度を日頃より意識した行動をとる。 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題などの未提出)がみられる場合は減点する。
その他	10	① ② ③ ④ ✓ ⑤ ✓	受講態度が悪い場合は保育者としての資質に欠けると判断し保育実習を受けることができない場合があるので注意すること。 4回以上の欠席は保育所実習を受けることができない。 2つの課題(①パネルシアター②手遊び・歌遊び)に対して提出期限を厳守する。5点×2
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義と目的を理解し説明でき、積極的に準備に協力することができる。① ・保育教材の課題に対し実習を見据え実践を意識し計画性を持って保育教材作成し指導計画へ展開ができる。② ・作品の完成度が高い③ S(秀)=①+②+③ A(優)=①+②	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義と目的を理解して説明できる。① ・保育実践を見据えて保育教材を丁寧に仕上げている。② B(良)=①+② C(可)=①

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 / 1週	オリエンテーション 保育所保育指針を読む。 DVD視聴を通して保育所 の現状を知る。	講義 (岡田・児玉) 指針の総則の穴埋め 問題を行いフィードバ ックする	保育実習Ⅰの概要につ いて理解する。 保育所保育指針から保 育所の役割や保育所の 社会的役割等について 学ぶ。	(予習)保育所保育指針 の総則を読んでおく。 (復習)保育所の役割や 社会的役割をまとめる。 (次週提出)	45 45	傾聴力
2週 / 2週	保育所実習の目的・内容を 理解する。 次年度実習園の相談・希 望調査用紙に記入をする。	演習 (岡田・児玉)	保育所実習の目的・内容 を知る。 保育実習Ⅱの実習園希 望先等の個別相談や希 望調査用紙の記入、提 出など次の実習に向けて の準備を行う。	(予習)保育実習Ⅱの実 習先を調べておく 実習先の概要を把握す る。 (復習)実習園を調べて おく。	45 45	主体性
3週 / 3週	保育実践力としてパネル シアター・パネルボードを 制作する。	演習 G1・G2授業 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	実習で使用する教材の 準備をする。指導実習の 内容を具体的にイメージ しながら、必要な教材を 調達し制作する。	(予習)必要な教材を準 備する。 (復習)ガイドテキストを参 考にして、何を作成する のか構想を考えておく。	45 45	主体性
4週 / 4週	保育実践力としてパネルシ アター・パネルボードを制 作する。	演習 G1・G2授業 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	実習で使用する教材の 準備をする。指導実習の 内容を具体的にイメージ しながら、必要な教材の 調達し制作する。	(予習)必要な教材を準 備する。 (復習)作品を完成する。	45 45	主体性
5週 / 5週	保育実践力をつける。 (パネルシアターを演じる)	演習 G1・G2授業 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	完成した教材を使用し、 保育実習を具体的にイメ ージしながら、使い方を 事前に検討し実演する。	(予習)作品を使い練習 をする。 (復習)発表の反省をもと に、より完成度をあげる。 (作品提出)	45 45	主体性
6週 / 6週	実習に必要な書類に記入 をする。	演習 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	実習に向けて必要な書 類の作成と提出をする。 連絡票・出席票・評価票 の作成等(連絡先・写真) を指導する。	(予習)写真を用意し連 絡先を確認しておく。 (復習)学外実習の手引 きを読み評価について確 認し目標を持つ。	45 45	主体性
7週 / 7週	乳幼児保育についての学 びをもとに指導計画作成を する。(幼児に治安、部分案 の穴埋め)	講義 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	乳幼児の保育及び保育 指導案について学ぶ。 幼児保育の指導計画(日 案・部分案)の立案を学 ぶ。	(予習)事前に廃された 指導計画を読んでおく。 (復習)指導案を完成す る。(次週提出)	45 45	傾聴力
8週 / 8週	乳幼児保育についての学 びをもとに指導計画作成を する。(乳児)	演習 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	低年齢児(0歳児・1歳 児・2歳児)保育の指導 計画(部分案)を立案す る。	(予習)ガイドテキストを参 考に乳幼児の発達を把 握しておく。 (復習)未満児の発達 の特徴を書き出し、指導案 を完成する。(次週提出)	45 45	傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / 9週	事前訪問指導の受け方・ 電話のかけ方・報告書提出 指導・細菌検査の方法を学 び実践する。	演習 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	事前訪問の受け方・報告 書の記入方法の確認を する。 依頼の電話かけをする。	(予習)学外実習の手引き (保育実習)を読んでおく (復習)電話かけた後の報 告をする。	45 45	主体性 規律性
10週 / 10週	実習園を訪問し事前指導 を受け実習園の概要、実習 内容を把握する	演習 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	実習先を訪問し、事前指 導を受ける。 訪問後は、速やかに巡 回指導者に、報告書を提 出する。	(予習)事前訪問に際し質 問項目を準備しておく (復習)事前指導報告書を 作成する	45 45	主体性 規律性
11週 / 11週	乳幼児の保育の流れを把 握する。 保育技術を習得する。(手 遊び・歌遊び)	演習 (岡田・児玉) 活用方法を話しフィー ドバックをする。	乳幼児保育の流れを把 握し、実習の取り組みを 学ぶ。 保育技術を学ぶことによ って保育現場での活用 方法を知る。	(予習)乳幼児の園生活の 流れを事前に調べておく。 (復習)手遊び・歌遊びを 選び出しノートを作成す る。(提出)	45 45	傾聴力 主体性
12週 / 12週	保育実践(手遊び・歌遊 び)をする。個人発表・グル ープ発表	演習 G1・G2 授業 (岡田・児玉) 保育実践の評価を行い フィードバックをする。	「手遊び・歌遊び」の実 践をする。 グループで協力し、「手 遊び・歌遊び」の実践を 行う	(予習)選び出したあそ びを実践できるように練習 しておく。 (復習)他者の手遊びを練 習して自分のものにする	45 45	傾聴力 主体性
13週 / 13週	実習記録・指導計画案の 作成について (実習記録・部分案・日案)	演習 (岡田・児玉) 記録指導計画との違い を再確認してフィー ドバックをする。	幼稚園の実習記録を読 み返し保育実習との相違 点を見出す。 実習記録と指導計画案と の違いを知る。	(予習)幼稚園の実習記録 を見直し保育園の生活との 違いを見つける。 (復習)実習記録の記入の 仕方、指導計画の記入の 仕方を再確認する。	45 45	主体性 傾聴力
14週 / 14週	保育所実習 I の諸注意を 学ぶ。	講義 (岡田・児玉) 注意事項を唱えフィー ドバックをする。	実習の心得、態度、服 装、勤務、子どもに接す る態度等について諸注 意を行う。	(予習)学外実習の手引き を読んでおく (復習)手引きに添って実 習に向かい目標を整理し 計画を立てる。	45 45	傾聴力 規律性
15週 / 15週	保育実習 I の反省会に参 加し振り返りを行う。	講義・演習 (全教員) 反省会を終えて再度自 己反省を行いフィー ドバックをする	巡回担当者別に反省会 及び事後指導を行う。	(予習)実習の振り返りを完 成し参加する。 (復習)実習反省会を通し 自己課題を見出しまとめ提 出する。	45 45	主体性 傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52503	保育実習指導Ⅱ Childcare Internship: Guidance Ⅱ	岡田真智子 児玉 珠美	専門	1	選択	2年前期
科目の概要						
<p>保育実習Ⅰでの学びを深め、実習に当たっての心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、現場で求められる実技指導、実習園に行く前の事前指導などを理解する。 また、実習中の巡回教員からの指導、実習後の個別指導などを理解する。保育士に必要な専門的知識・技能を現場で協調性をもって柔軟に活用できるように学ぶ。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 実習の意義と目的を理解する。 ② 実習や既習の教科の内容やその関連性を理解する ③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について知る。 ④ 保育士の専門性と職業倫理の再確認をする。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行う。</p>			<p>① 保育について総合的に理解できる。 ② 保育実践力を身につける。 ③ 指導計画を立案することができる。 ④ 保育士の専門性と職業倫理を具体的に述べることができる。 ⑤ 保育に対する評価反省を行い、課題を明確にすることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	実習に必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる。技術の習得のために自ら制作したり練習したりすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに作品を仕上げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	実習には何が必要か考えることができる。				
	計画力	計画表を作成し、計画表に基づいてブラブラ人形をグループ発表日までに完成することができる。				
	創造力	固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考え、ブラブラ人形を制作することができる。				
チームで働く力	発信力	話そうとすることを自分なりにまとめて簡潔に伝えることができる。発表の仕方を工夫して発表することができる。				
	傾聴力	人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト：「学外実習の手引き」 愛知学泉短期大学幼児教育学科 編集発行 「保育所保育指針解説書」 厚生労働省編 株式会社フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」 文部科学省 株式会社フレーベル館 「教育・保育実習安心ガイド」 阿部 恵・鈴木みゆき編著 ひかりのくに株式会社 「教育・保育実習実技ガイド」 東山 明・名賀三希子著者 ひかりのくに株式会社</p> <p>参考文献：なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連：保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、施設実習Ⅰ、施設実習Ⅱ、各種実習指導 資格との関連：保育士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントや資料は「学外実習の手引き」に合わせてまとめておくこと。 作成した教材の使い方を考えておくこと。 日頃より年齢に合わせた絵本、季節の歌、手遊び、年齢に合ったゲーム遊び等、分類しておく。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み、積極的に受講すること。 テキストを忘れずに持ってくること。 欠席や遅刻回数が多い、授業態度が悪い、提出物の期限を守らない等、積極的に受講する姿勢を示さない学生は実習を受けることができないので注意すること。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の内容を具体的にイメージし、今までの学びを基に展開方法について具体的な計画書(年齢の特徴・遊び・活動名ほか)を作成することができる。10点 ・実習に備えて、保育の指導計画(日案・部分案)を立案することができる。10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで恥ずかしがらずに成果発表(手作りおもちゃ、手遊び・歌遊びノート)ができる。また、グループ毎に役割分担をして、責任を持って発表ができる。40点(手作りおもちゃ、手遊び・歌遊びノート各20点)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品	30	①		<ul style="list-style-type: none"> ・手作りおもちゃの完成度で評価を行う。30点 作品の完成度が特に高い:30点、 完成度は高く表現にも工夫がみられる。20点 完成はしているが、表現方法に工夫と努力が必要である:10点
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ・実習に必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる ・技術習得のため指示がなくても自ら練習することができる。 (実行力) ・期限までに作品を仕上げることができる。 (課題発見力) ・実習には何が必要か考えることができる。 (計画力) ・計画表を作成し、計画表に基づいてブラブラ人形をグループ発表日までに完成することができる。 (創造力) ・固定概念に捉われないことと色々な方向から考え、ブラブラ人形を制作することができる。 (発信力) ・話そうとすることを自分なりにまとめて簡潔に伝えることができる。 ・発表の仕方を工夫して発表することができる。 (傾聴力) ・人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。 (規律性) ・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びB(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義と目的を理解し説明することができる。① ・工夫して保育教材の制作・活用に対し意欲的にすることができる。② ・「保育実習Ⅰ」での課題を踏まえた年齢に適した指導計画の作成をすることができる。③ <p>S(秀) = ① + ② + ③ A(優) = ① + ② 又は ③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義と目的を理解することができる。① ・手を抜かず保育教材を仕上げる。② ・年齢に適した指導計画の作成をすることができる。③ <p>B(良) = ① + ② + ③ B(可) = ① + ②</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーションを行う ・保育所保育指針を読む。	講義 (岡田・児玉) 保育所保育指針を読み直してフィードバックをする	保育実習Ⅱの概要について理解することができる。 保育所保育指針を見て、子どもの発達・保育内容等を確認することができる。	(復習)保育指針について読み返しておくこと。	45 45	主体性 傾聴力
2週 /	・保育実習Ⅱの目的・内容を学ぶ	講義 (岡田・児玉) 保育実習の目的と内容をフィードバックをする	保育実習Ⅱの目的と内容について、理解することができる。	(予習)保育実習Ⅱの目的と内容について復習しておくこと。 (復習)実習の目的・内容を書き出しておく。	45 45	主体性 傾聴力
3週 /	・教材「ブラブラ人形」を制作する。	演習 (岡田・児玉) 人形制作についてフィードバックをする	指導実習の内容を具体的にイメージしながら、必要な教材の調達や使い方を事前に検討することができる。	(予習)必要な教材の調達をしておくこと。 使い方の考案をしておくこと。 (復習)ぶらぶら人形を完成させ使い方を確認する	45 45	主体性 創造性
4週 /	・教材・脚本作りをする。「ブラブラ人形」	演習 (岡田・児玉) 脚本についての話し合いについてフィードバックをする	実習で使用する教材を制作する。 グループ毎に制作した教材を使った人形劇の脚本を考えることができる。	(予習)ブラブラ人形を完成させ、劇の練習をしておくこと。 役割分担の把握をしておくこと。 (復習)脚本に合わせて練習を行っておく	45 45	実行力 創造性 計画性
5週 /	・教材「ブラブラ人形」のグループ発表を行う。	演習 (岡田・児玉) お互いの発表についてフィードバックをする。	メンバーで役割分担・発表の仕方を工夫等して発表することができる。	(予習)ストーリーに沿って練習をしておく。 (復習)発表の反省をし、次への活かし方を考える	45 45	実行力 傾聴力 発信力
6週 /	・保育実習に必要な書類の記入を学び作成する。(連絡票・出席票・評価票の作成など)	演習 (岡田・児玉) 評価Ⅱについてフィードバックをする。	実習に向けての必要な書類の作成と提出することができる。	(予習)テキストを理解してスムーズに記入できるようにしておく。 (復習)実習に向けての準備をしておくこと。	45 45	主体性 傾聴力
7週 /	・保育実習についての諸注意を学ぶ。 ・事前訪問指導の仕方を学ぶ。	講義 (岡田・児玉) 初通委についてフィードバックをする。	事前訪問の受け方・報告書の記入方法の確認をすることができる。 実習依頼の電話をかけることができる。	(予習)事前訪問の受け方・報告書の記入方法の確認をしておくこと。 実習依頼の電話のかけ方を確認しておくこと。 (復習)テキストを理解したうえで実習依頼の伝をかける。	45 45	主体性 傾聴力
8週 /	・「保育実習Ⅰ」の振り返りと指導実習を学ぶ。	講義 (岡田・児玉) 保育実習Ⅰについての話し合い後にフィードバックをする	「保育実習Ⅰ」の実習記録(学外実習用)を参考に、実習を振り返り、主活動の指導案を作成することができる。	(予習)保育実習Ⅰの記録を見直しておく。 (復習)部分の指導計画案を作成する。 (次週に提出)	45 45	実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	・実習記録と指導計画について学ぶ。	演習 (岡田・児玉) 部分案作成についてフィードバックをする	指導実習に備えて、保育の指導計画(日案・部分案)を立案することができる。	(予習)主活動に適した保育内容を考案しておくこと。 (復習)日案を作成する。(次週に提出)	45 45	実行力 計画力
10週 /	・保育実習の事前指導訪問に行き、実習園の概要・実習内容などを把握する。	演習 (岡田・児玉) 実習先の園の概要をフィードバックをする	実習先を訪問し、事前指導を受けることができる。訪問後は、速やかに巡回指導者に報告書を提出することができる。	(予習)事前訪問の受け方の確認をしておくこと。 (復習)訪問後は巡回教員に「事前指導報告書・学びたいこと」を記入して提出する。	45 45	実行力 発信力 規律性
11週 /	・「遊び」について考える。	講義 (岡田・児玉) 話し合った遊びについての実践方法をフィードバックをする	「子どもの生活は遊びである」と言われるように、遊びは子どもにとって重要な位置を占めるものであることを理解することができる。	(予習)「遊び」についていろいろ書きだしておくこと。 (復習)「遊び」について年齢・内容・方法等にまとめる。(提出)	45 45	主体性 傾聴力
12週 /	・「手遊び・歌遊びノート」作りいろいろな手遊びを学ぶ。	演習 (岡田・児玉) 手遊びの方法についてフィードバックをする	「乳幼児の遊び」を、より深く読み取れるように「手遊び・歌遊びノート」作りをすることができる。	(予習)手遊び・歌遊びを調べておく。(各3曲) (復習)遊びノートの完成をすること。 役割分担の確認をし、練習すること。	45 45	実行力 創造力 計画性
13週 /	・「手遊び・歌遊びノート」の発表をする。	演習 (岡田・児玉) 発表に対してのフィードバックをする	メンバーで役割分担・発表の仕方を工夫して発表することができる。	(予習)手遊びの練習をする。 (復習)発表の評価反省から課題を発見し、実習での遊びノートの活かし方を考えること。	45 45	実行力 傾聴力 発信力
14週 /	・保育実習Ⅱについての再確認をする。	講義 (岡田・児玉) 実習の心得について話し合いフィードバックをする	実習の心得・態度・服装・勤務・子どもに接する態度等を確認することができる。	(予習)保育実習Ⅱについて再確認すること。 (復習)実習の心得・態度・服装についてまとめる。(レポート)	45 45	主体性 規律性
15週 /	・保育実習Ⅱの反省、指導された点、今後の課題などを振り返り共有する。	講義・演習 (全教員) 反省会終了後フィードバックをする	保育実習Ⅱの反省会に参加し、振り返り・反省をし、課題を明確にすることができる。	(予習)実習の振り返りをしておくこと。 体温チェック表・事後報告書の記入をしておくこと。 (復習)実習を振り返りどのような保育士になるのかを具体的にまとめる。	45 45	傾聴力 発信力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力